職種：品質管理　　職務：品質検査

【概要】

　品質検査とは、製品の１つ以上の特性値に対して、測定、試験、検定、限界見本との色比較、ゲージ合わせなどを行い、製品ごとの要求仕様と比較して、適合しているかどうかを判定する仕事である。

【仕事の内容】

品質検査とは、製品品質の維持向上のための各工程における検査を職務とし、以下の業務を実施する。

* 1. 受入検査：納品された材料が規定の品質を満たしているかについての検査を行い、

その結果を判別し適切な処置を行う。

* 1. 中間検査：工程間において品物の外観・形状・皮膜厚さ・耐食性などの品質に関す

る検査を行い、その結果を判別し適切な処置を行う。

* 1. 出荷検査：最終工程において完成品の外観・形状・皮膜厚さ・耐食性などの品質に

関する検査を行い、その結果を判別し適切な処置を行う。

【求められる経験・能力】

1. 入職に際して、経験や公的資格は特に必要とされないが、経歴者採用の際は、当該業務における専門知識やスキル、資格等が問われることが多い。
2. 技能検定（アルミニウム陽極酸化処理）の資格（１級、２級）を取得することで技能が社内で認められて地位が向上することが多い。転職時にも、資格保有者は有利である。
3. 顕微鏡などの精密な装置を扱うため、視力のよいことや、操作時には注意力と正確性が特に必要である。
4. 各種検査データを基に関係部門と協議する必要もあることから、データの解析能力や交渉能力及び調整能力などコミュニケーションスキルや対人関係スキルも必要とされる。

【関連する資格・検定等】

* 技能検定〔厚生労働省　職業能力開発促進法〕

アルミニウム陽極酸化処理（１級・２級）

* 特定化学物質等作業主任者、有機溶剤作業主任者、公害防止管理者、毒物劇物取扱責任者等の労働安全衛生面に係る資格

【労働省職業分類（小分類）との対応】

　　０４１　金属製錬・材料技術者

　０７１　その他の技術者

５５６　めっき工

軽金属製品製造業における職務概要図